



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月6日

上場会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8291 URL <https://www.nissan-tokyo-hd.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹林 彰
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 米澤 領一 (TEL) 03-5496-5203
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	101,794	0.0	4,689	86.4	4,558	85.4	2,752	100.2
2022年3月期第3四半期	101,783	5.3	2,515	173.8	2,458	263.7	1,374	338.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,648百万円(62.5%) 2022年3月期第3四半期 1,629百万円(87.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	41.51	—
2022年3月期第3四半期	20.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	89,160	50,080	54.2
2022年3月期	94,759	48,312	49.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 48,343百万円 2022年3月期 46,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2023年3月期	—	5.00	—		
2023年3月期(予想)				7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	1.2	5,500	24.8	5,200	24.1	2,700	28.5	40.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	66,635,063株	2022年3月期	66,635,063株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	274,024株	2022年3月期	366,574株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	66,320,208株	2022年3月期3Q	66,315,107株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における全国の新車販売台数は、半導体不足等による車両供給不足の影響が継続しており、前年同四半期比0.5%減、当社グループのマーケットである東京都内の新車販売台数は同3.9%減となりました（いずれも登録日基準）。

このような状況の中、当社グループではe-POWER車（ノート・ノートオーラ、エクストレイル、キックス、セレナ）、電気自動車（アリア、サクラ、リーフ）などの電動車を中心に受注と収益の確保に継続して取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの新車販売台数は全体需要と比較可能な登録日基準での前年同四半期比が7.9%増、経営成績に反映されている納車日基準での新車販売台数が同4.3%増となっております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結子会社1社の除外の影響があったものの、新車販売台数増などもあり、売上高が101,794百万円（前年同四半期比11百万円増、0.01%増）となりました。また、前年度実施した日産販売会社3社の統合を通して、お客さまのニーズに合わせた提案型営業のさらなる徹底、中古車事業での収益力の向上等に加え、販売費・一般管理費の削減などに引き続き取り組んだ結果、営業利益が4,689百万円（前年同四半期比2,173百万円増、86.4%増）、経常利益が4,558百万円（前年同四半期比2,099百万円増、85.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が2,752百万円（前年同四半期比1,378百万円増、100.2%増）といずれも過去最高益となりました。

当社グループは、自動車関連事業および情報システム関連事業を主な事業として展開しており、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 自動車関連事業

上記記載の通りの状況により、売上高は96,851百万円（前年同四半期比377百万円減、0.4%減）、セグメント利益（営業利益）は4,967百万円（前年同四半期比2,148百万円増、76.2%増）となりました。

今年度は電気自動車のサクラがカーオブザイヤー三冠を受賞し、ノート・ノートオーラは2022年の電動車販売台数No.1となりました。また、当社のEV販売台数が累計1万台超となるなど「電動化リーダー」として電動車を中心に今後もより一層の受注台数と収益の拡大に取り組んでまいります。

② 情報システム関連事業

IT投資が活況を呈する中、マネージドサービス事業が堅調に推移した結果、売上高は4,659百万円（前年同四半期比371百万円増、8.7%増）、セグメント利益（営業利益）は342百万円（前年同四半期比101百万円増、42.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は89,160百万円（前連結会計年度比5,599百万円減、5.9%減）となりました。主な内容は、現金及び預金が4,147百万円、受取手形及び売掛金が429百万円、商品が951百万円、繰延税金資産が556百万円減少し、有形固定資産が212百万円、その他投資資産が466百万円増加しております。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は39,079百万円（前連結会計年度比7,366百万円減、15.9%減）となりました。主な内容は、買掛金が1,969百万円、賞与引当金が645百万円、その他流動負債が2,954百万円、1年内返済予定を含む長期借入金が1,650百万円減少しております。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は50,080百万円（前連結会計年度比1,767百万円増、3.7%増）となりました。主な内容は、配当金の支払がありました親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が1,887百万円、非支配株主持分が67百万円増加し、退職給付に係る調整累計額の減少などによりその他の包括利益累計額が213百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2022年11月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,305	18,157
受取手形及び売掛金	4,236	3,806
商品	11,055	10,103
仕掛品	311	381
貯蔵品	39	36
その他	1,898	1,735
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	39,838	34,216
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,941	6,912
リース資産（純額）	4,623	4,489
土地	23,500	23,500
その他（純額）	4,676	5,051
有形固定資産合計	39,741	39,953
無形固定資産		
のれん	812	745
その他	260	311
無形固定資産合計	1,073	1,056
投資その他の資産		
投資有価証券	4,274	4,196
繰延税金資産	1,083	527
その他	9,449	9,916
関係会社投資等損失引当金	△635	△635
貸倒引当金	△65	△71
投資その他の資産合計	14,106	13,933
固定資産合計	54,920	54,944
資産合計	94,759	89,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,957	9,988
1年内返済予定の長期借入金	2,200	1,900
リース債務	342	318
未払法人税等	591	421
賞与引当金	1,283	637
その他	11,510	8,556
流動負債合計	27,886	21,823
固定負債		
長期借入金	3,300	1,950
リース債務	4,381	4,267
繰延税金負債	163	157
役員退職慰労引当金	27	33
退職給付に係る負債	10,188	10,356
資産除去債務	331	334
その他	169	158
固定負債合計	18,560	17,256
負債合計	46,446	39,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,752	13,752
資本剰余金	248	248
利益剰余金	28,986	30,873
自己株式	△100	△74
株主資本合計	42,886	44,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,687	1,629
退職給付に係る調整累計額	2,070	1,915
その他の包括利益累計額合計	3,758	3,545
非支配株主持分	1,668	1,736
純資産合計	48,312	50,080
負債純資産合計	94,759	89,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	101,783	101,794
売上原価	78,072	77,429
売上総利益	23,710	24,364
販売費及び一般管理費	21,194	19,675
営業利益	2,515	4,689
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	121	98
受取手数料	150	172
雑収入	18	40
営業外収益合計	290	312
営業外費用		
支払利息	92	82
支払手数料	212	218
設備賃借費用	—	111
雑損失	42	29
営業外費用合計	347	442
経常利益	2,458	4,558
特別利益		
投資有価証券売却益	7	—
助成金収入	2	1
特別利益合計	10	1
特別損失		
固定資産除売却損	56	55
減損損失	32	—
店舗閉鎖損失	—	37
新型コロナウイルス対応による損失	21	2
特別損失合計	110	94
税金等調整前四半期純利益	2,359	4,465
法人税、住民税及び事業税	273	952
法人税等調整額	632	656
法人税等合計	905	1,608
四半期純利益	1,453	2,857
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,374	2,752

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,453	2,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	300	△53
退職給付に係る調整額	△124	△154
その他の包括利益合計	175	△208
四半期包括利益	1,629	2,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,543	2,539
非支配株主に係る四半期包括利益	86	108

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
新車	48,614	—	48,614	—	48,614
中古車	20,711	—	20,711	—	20,711
整備	22,245	—	22,245	—	22,245
その他	5,656	4,288	9,945	—	9,945
顧客との契約から生じる収益	97,228	4,288	101,517	—	101,517
その他の収益	—	—	—	266	266
外部顧客への売上高	97,228	4,288	101,517	266	101,783
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4	508	512	—	512
計	97,233	4,796	102,029	266	102,295
セグメント利益	2,818	241	3,059	106	3,166

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,059
「その他」の区分の利益	106
全社費用(注)	△650
四半期連結損益計算書の営業利益	2,515

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
新車	53,772	—	53,772	—	53,772
中古車	15,449	—	15,449	—	15,449
整備	21,942	—	21,942	—	21,942
その他	5,686	4,659	10,345	—	10,345
顧客との契約から生じる収益	96,851	4,659	101,510	—	101,510
その他の収益	—	—	—	283	283
外部顧客への売上高	96,851	4,659	101,510	283	101,794
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	377	381	—	381
計	96,855	5,036	101,891	283	102,175
セグメント利益	4,967	342	5,310	116	5,426

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,310
「その他」の区分の利益	116
全社費用（注）	△737
四半期連結損益計算書の営業利益	4,689

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。